

03 夢洲の現況と位置づけ

1. 臨海部のポテンシャル

- ・多様な機能が立地し、埋立地や大規模街区であるという立地特性を活かした先進的な技術実証やその事業化が進められている
- ・物流拠点としても世界につながるゲートウェイとして西日本の一大拠点を形成している
- ・都心や周辺都市との高速道路ネットワークが整備されており、交通至便性が高い
- ・ユニバーサル・スタジオ・ジャパン®（以下「USJ」という。）や海遊館などの観光資源や野球場やアリーナなどのスポーツ施設が集積している

① 全体のポテンシャル

立地・空間ポテンシャル

- 海に囲まれた立地
- 将来的に大規模なまちづくりが可能な用地
- 土地利用・権利が明確
- 面的整備等による都市機能の導入や先導的な都市政策の導入が図りやすい

インフラポテンシャル

- 都心・関西国際空港からの高速道路ネットワークが概ね整備済

国際物流ポテンシャル

- 西日本の一大物流拠点（国際コンテナ戦略港湾）
- 大阪港が支える近畿圏 GDP は、国内の約 17%
- 世界とつながるゲートウェイ

機能ポテンシャル

- 大規模街区を活かした多様な機能立地
 - ・環境・新エネルギー系、医療系機能集積（舞洲、咲洲）
 - ・スポーツ系機能集積、エンタメ機能（舞洲、天保山、此花西部臨海地区）
 - ・大規模展示施設、宿泊施設、大規模商業施設等の立地（咲洲）
 - ・コンテナターミナル、客船ターミナル立地（咲洲、夢洲、天保山）

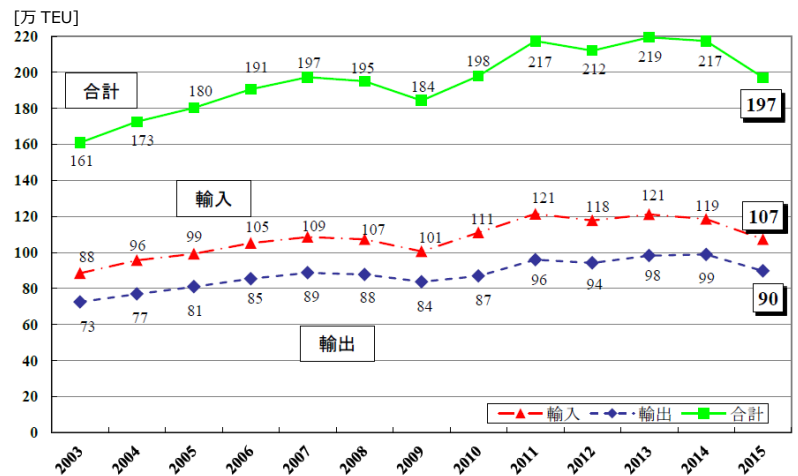


図 コンテナ取扱個数²⁴

²⁴ 出典：大阪市港湾局 グラフで見る大阪港 2015年

豊富な観光資源

- 天保山・築港地区、此花西部臨海地区、咲洲コスモスクエア地区および舞洲には複数の観光資源があり年間来訪者も多い²⁵。
- 観光クルーズでは大阪湾や運河の景観が楽しめる。
- 舞洲を拠点にプロスポーツチーム（大阪エヴェッサ、オリックス・バファローズ、セレッソ大阪）が活動。

多くの来訪者

- 天保山・築港地区：海遊館は年間 245 万人の来訪者（2015 年度）
- 此花西部臨海地区：USJ は年間約 1400 万人の来訪者（2015 年度）



図 USJ 全景²⁶

多くのイベントが開催

- インテックス大阪：モーターショーをはじめとする各種イベント、商談の為の展示会を開催（2015 年度 199 件 入場者数 276 万人）
- ATC：GW・夏季を中心に家族向けのイベントなどを頻繁に開催（2015 年度 来場者数 665 万人）



図 イベント例²⁷

臨海部のすばらしい景観

- 観覧車やクルーズ船から大阪湾や運河の景観が楽しめる



図 天保山風景²⁸

プロスポーツチームの拠点集約

- バスケットボール、野球、サッカーのプロスポーツチームが試合・練習の拠点を設置



図 舞洲ベースボールスタジアム²⁹

先進技術実証・事業化ポテンシャル

○咲洲地区

- ・スマートコミュニティ実証事業（2012～2015 年）
- ・世界最大級となる大型蓄電システム等の性能に関する試験評価施設(NLAB)開設

○夢洲地区

- ・大規模太陽光発電（メガソーラー）を設置（発電規模：10MW（メガワット））
- ・EVから回収した中古蓄電池を安全に運用する技術を確認し、経済性の高い大型リユース蓄電池システムとして世界初の実証事業（2014 年～）

◆夢洲メガソーラー



◆EVリユース蓄電池

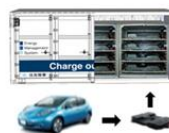


図 メガソーラー・EV リユース蓄電池³⁰

²⁵ 出典：総合ユニコム 全国の主要レジャー・集客施設 入場者数ランキング 2016

²⁶ 出典：国土交通省 国土交通白書

²⁷ 出典：インテックス大阪 ホームページ

²⁸ 出典：大阪市 ホームページ

²⁹ 出典：大阪観光局 ホームページ

³⁰ 出典：大阪府・大阪市 データでみる「大阪の成長戦略」平成 26 年 8 月版

② 各地区のポテンシャル

舞洲

- ・充実したスポーツ・レクリエーション空間
- ・物流・環境機能の集積
- ・バスケットボール（大阪エヴェッサ）、野球（オリックス・バファローズ）、サッカー（セレッソ大阪）といったプロスポーツチームが試合・練習の拠点を設置



天保山・築港地区・此花西部臨海地区

- ・海遊館、天保山マーケットプレース、USJなどの集客施設が立地し、大阪有数の観光地として、国内外からの観光客が訪れている
- ・USJと海遊館等は対岸に位置しシャトル船（約10分）で結ばれている
- ・天保山では、超大型客船の受け入れが可能



夢洲

- ・将来的に大規模なまちづくりが可能な用地
- ・オーシャンフロントを活かした非日常空間を創出できる立地

咲洲

- ・南・東アジアに開かれたビジネス交流・交易拠点の形成をめざす
- ・成長期待の高い環境・新エネルギー・医療・介護など先端技術開発に資する研究開発機能の集積
- ・シーサイドコスモなどみどり豊かなまちなみとチャネルのあるアメニティ豊かなまちなみに宿泊・居住機能が集積

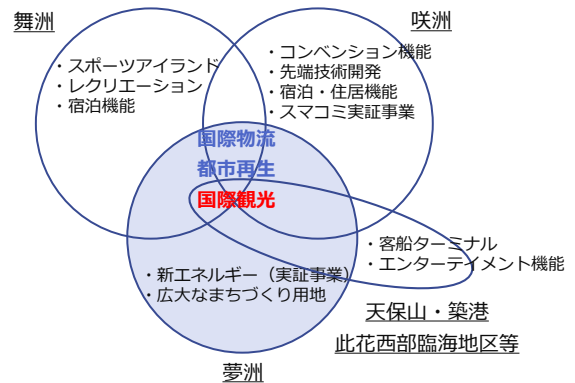


2. 臨海部の課題

- 時代の要請をとらえつつ、臨海部のポテンシャルを最大限に発揮できるまちづくりが必要。
- 臨海部(特に夢洲まで)のアクセス強化を図り、関西全体の交通ネットワークとの接続が必要。
- 臨海部(夢洲、咲洲、舞洲、天保山・築港、此花西部臨海地区等)のより一層の機能連携が必要。
- 観光施設及び物流施設のそれぞれが最大限に機能を発揮できるゾーニングや次世代の成長をけん引する機能の導入が必要。

3. 夢洲のめざすべき姿

- 広大な用地が確保できる夢洲のポテンシャルを最大限に発揮できるまちづくりをめざす。
- 臨海部の各エリアとの連携により、さらなる経済振興・都市魅力向上に資する拠点をめざす。



○大阪の成長をけん引する新たな拠点の形成 ～新たな国際観光拠点～

- ・将来的に大規模なまちづくりが可能な土地が確保でき、オーシャンフロントの非日常空間を体感できる立地ポテンシャルを活かし、訴求力の高い国際観光拠点を形成し、大阪経済の活性化に寄与する。
- ・臨海部や市内、周辺都市のみならず西日本各地とのネットワークを形成し、拠点形成の効果を広く波及させ、西日本の活性化に寄与する。

○大阪の成長を支える既存拠点の充実 ～国際物流拠点～

- ・国際コンテナ戦略港湾・大阪港の中心的機能を担う夢洲において、高規格コンテナターミナルと背後の産業、物流関連用地が一体的に機能する国際物流拠点の形成を図り、大阪関西の経済活動や市民生活を支える役割を果たしていく。

○適切なゾーニングや都市基盤等の整備

- ・国際観光拠点及び国際物流拠点のそれぞれの機能が最大限に発揮されるゾーニング、交通アクセスの導入、都市空間形成等に取り組む。

4. 国際観光拠点形成の方向性

○これまで整理した大阪・臨海部のポテンシャル・課題及び夢洲の位置づけから分析を行い、国際観光拠点形成の方向性を導き出す。

	大 阪	臨 海 部
ポ テ ン シ ャ ル	・ライフサイエンス・グリーンなどの幅広い産業集積 ・豊富な観光資源、世界遺産・文化財の集積、大学・研究機関の集積 ・国際港湾・国際空港との近接（利便性）、交通・物流インフラの充実 など	・先進的な技術実証 ・西日本の一大物流拠点 ・高い交通利便性 ・観光資源やスポーツ施設の集積 など
位 置 付 け	●国際コンテナ戦略港湾（2010(平成 22)年 8 月） 阪神港：背後圏の産業活動の活性化ならびに雇用の創出に寄与するとともに、豊かで快適な市民生活に貢献する ●関西イノベーション国際戦略総合特区（2011(平成 23)年 12 月） 夢洲・咲洲・阪神港：ライフサイエンス分野、環境・新エネルギー分野に集中投資し、世界に向けて新しいイノベーションを創出 ●ランドデザイン・大阪（2012(平成 24)年 6 月） 夢洲・咲洲：海の玄関口として、新エネルギー産業、国際観光エンターテインメントの誘致に活かす ●関西圏国家戦略特区（2014(平成 26)年 5 月） 規制の特例措置を活用し健康・医療分野でのイノベーションの推進と民間のチャレンジを支えるビジネス環境形成 ●関西広域地方計画（2016(平成 28)年 3 月） 関西：歴史とイノベーションによるアジアとの対流拠点 ●大阪都市魅力創造戦略 2020（2016(平成 28)年 11 月） 2020 年に向けた大阪の都市魅力創造として「世界的な創造都市、国際エンターテインメント都市へ加速」 ●ランドデザイン・大阪都市圏（2016(平成 28)年 12 月） 「国際観光エンターテインメント空間の創造」 ●大阪の成長戦略（2016(平成 28)年 12 月） 2020 年に向け集客力、人材力、産業・技術力、物流人流インフラ、都市の再生を成長のための 5 つの源泉とする ●特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律（2016(平成 28)年 12 月） 特定複合観光施設区域の整備の推進に関する基本理念及び基本方針その地の基本となる事項を定める	

分析

国際観光拠点形成の方向性

- 大阪、関西、日本観光の要となる独創性に富む国際的エンターテインメント拠点形成
- 新しいビジネスにつながる技術やノウハウを世界第一級の MICE 拠点を中心に夢洲全体をショーケース化し、国内外に発信
- 健康で生き活きと生活をエンジョイできる革新的な技術などの創出と体験
- 大阪・関西の活力と広域的な相乗効果を生み出すネットワーク
- 世界で存在感を発揮するまちづくり
- 確かな技術に支えられたスマートなまちづくり
- 地球・自然環境共生とスマート技術の融合による先進的で快適な環境形成
- アーティスティックなデザイン、上質で快適な空間形成
- 24 時間ホスピタリティと安心感に包まれるまちづくり
- 民が主役のまちづくり

コンセプト

RESORT
CITY

+

SMART
CITY

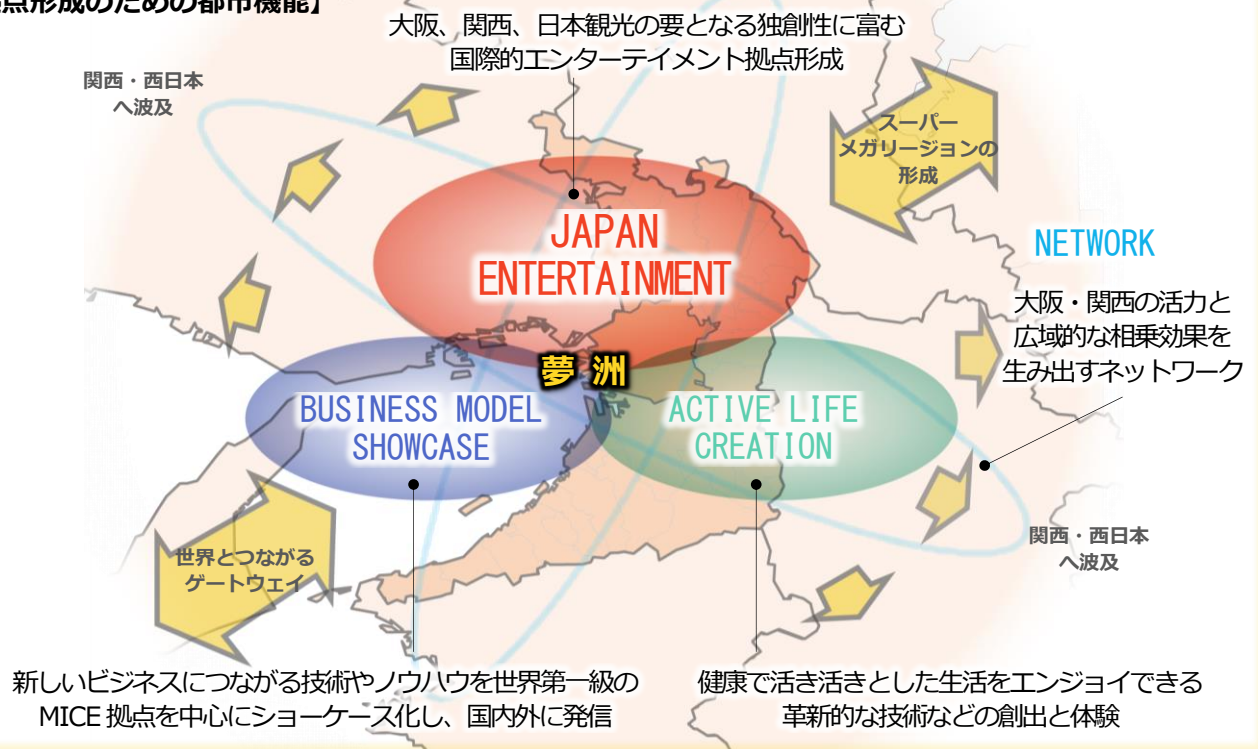
04 国際観光拠点「夢洲」のコンセプト

【コンセプト】

SMART RESORT CITY

夢と創造に出会える未来都市

【拠点形成のための都市機能】



【まちづくりの方針】

- | | | |
|--------|---|-----------------------------------|
| 土地利用 | ▶ | 世界で存在感を発揮するまちづくり |
| 都市基盤 | ▶ | 確かな技術に支えられたスマートなまちづくり |
| 環境共生 | ▶ | 地球・自然環境共生とスマート技術の融合による先進的で快適な環境形成 |
| 空間デザイン | ▶ | アーティスティックなデザイン、上質で快適な空間形成 |

【支えるしくみ】

- | | | |
|-------|---|---------------------------|
| 安全・安心 | ▶ | 24時間ホスピタリティと安心感に包まれるまちづくり |
| 運営・育成 | ▶ | 民が主役のまちづくり |

JAPAN
ENTERTAINMENT

大阪・関西・日本観光の要となる
独創性に富む国際的エンターテインメント拠点形成

＜考え方・ねらい＞

- 世界中の人が訪れてみたいとあこがれ、質・規模ともに世界水準である日本・関西らしい文化・芸能に関する施設やコンテンツなど、多彩なエンターテインメントを体験できる国際的エンターテインメント拠点を統合型リゾート（IR）^{（※）}を中心として形成
 - ・都心部にはない海に囲まれた立地条件や広大な土地を最大限に活かし、日常生活と切り離された多彩な体験ができるエンターテインメントの一大拠点を、今後誘致をめざす統合型リゾート（IR）を中心に形成する。
- 周辺の観光集客拠点との連携(回遊性・情報発信等)を図り、臨海部全体で魅力・競争力を大幅強化
 - ・USJ、海遊館や舞洲スポーツアイランドなどとの回遊性の向上やそれらの施設についての情報を発信することにより、夢洲だけでなく臨海部全体の魅力や国際競争力を高める取り組みを推進する。

（※）統合型リゾート（IR）とは、本構想では、「特定複合観光施設区域の整備に関する法律」に定める「カジノ施設及び会議場施設、レクリエーション施設、展示施設、宿泊施設その他の観光の振興に寄与すると認められる施設が一体となっている施設であって、民間事業者が設置及び運営をするもの」をいう。

＜取り組みの方向性＞

1. 日本では他にない世界水準の多様なエンターテインメント機能の集積

○世界中の人がいずれは訪れてみたいと憧れ、大阪・関西の新たな魅力となるユニーク（夢洲でしか観られない、体験できない）、かつ、質・規模ともに世界第一級の多様なエンターテインメント機能を集積し、その魅力を365日発信する国際的なエンターテインメント拠点を形成する。

○関西国際空港との近接性を最大限に活かして、24時間いつでも楽しめるナイトメニューなどの充実を図る。



図 世界水準の多様なエンターテインメント機能の集積イメージ³¹

³¹ 出典：https://www.flickr.com

〇USJ、海遊館や舞洲スポーツアイランド等の周辺施設との回遊性や情報発信などを強化し、臨海部全体での魅力向上を図る。

（取り組み例）

- 空の観光（周遊）：アイコニックな夢洲を空から堪能（舞洲ヘリポートとの連携）
- 舞洲で行われているスポーツ等のVR（バーチャル・リアリティ）シアターでの中継など



空の観光（イメージ）³²



アリーナ（イメージ）³³



VR スポーツ（イメージ）³⁴

図 臨海部全体での魅力向上（周辺施設）との連携イメージ

〇大阪・関西・日本の文化や風習、観光資源などの魅力を紹介する総合案内機能（ショーケース機能）を導入し、日本や関西各地の理解を深め、更なる興味を喚起する取り組みを行う。また、その取り組みを推進することにより、周辺都市（観光地）・各施設との連携を図り、夢洲の集客力の強化を図る。

（取り組み例）

- デジタル技術やVR技術などの最新技術を用いたシアターによる観光地案内
- トラベルコンシェルジュデスクの設置
（サービス例：VRシアターで体験した情報についての手配・案内、多言語による案内が可能なタクシーの手配など）
- 観光地・主要ターミナルへの直行専用シャトルバスの運行
- 各府県の情報発信（例：物産館、PRセンターなど）



インフォメーションセンター（イメージ）³⁵



トラベルコンシェルジュデスク（イメージ）³⁶



VR技術による観光地案内（イメージ）³⁷

図 総合案内機能（ショーケース機能）イメージ

³² 出典：https://pixabay.com/ja/

³³ 出典：https://www.flickr.com

³⁴ 出典：https://www.flickr.com

³⁵ 出典：OSAKA-INFO 大阪観光局公式観光案内ホームページ

³⁶ 出典：帝国ホテル ホームページ

³⁷ 出典：独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所 ホームページ

2. 大阪・関西・日本が育んだ文化・芸術・エンターテインメント空間の形成

○大阪・関西・日本が育んできた和の文化・芸能（演劇、演芸、祭など）やジャパニーズポップカルチャー等に、国内外からの来訪者が気軽に触れられる施設、コンテンツやサービスを導入し、日本らしさ・大阪らしさのある観光拠点を形成する。

○ユネスコ無形文化遺産に登録された和食や割烹から粉ものまで大阪の多彩な食文化（自然や四季と調和した独自性のある食文化など）を楽しめる場づくりを行う。

○国内外からの来訪者が、日本文化を実感、再認識する日本庭園や能舞台などを備えた上質な迎賓の場・おもてなしの場を形成する。

○水上交通（大阪湾クルーズ、水の回廊、瀬戸内海クルーズ等）と連携し、水都大阪にふさわしい舟運観光の強化を図る。



文楽（イメージ）³⁸



歌舞伎（イメージ）³⁹



祭（イメージ）⁴⁰



上方落語（イメージ）⁴¹



ポップカルチャー（イメージ）⁴²



割烹（イメージ）⁴³

図 文化・芸術・エンターテインメント空間イメージ

³⁸ 出典：独立行政法人 日本芸術文化振興会 ホームページ

³⁹ 出典：国立劇場歌舞伎情報サイト ホームページ

⁴⁰ 出典：岸和田だんじり祭 岸和田市公式ホームページ

⁴¹ 出典：天満天神繁昌亭 ホームページ

⁴² 出典：JLOP ホームページ

⁴³ 出典：公益社団法人日本料理研究会ホームページ

3. 屋外イベントの一大拠点となり、ファミリーも楽しめる

アウトドア・アクティビティの充実

○海に囲まれた立地や広大な土地を活かし、屋外イベントの一大拠点となる（大規模な）イベント空間や水辺や緑地などで佇んだり、ランニングやウォーキングを楽しんだりできる多様な屋外空間を設ける。

○市民や観光客がいつ訪れても楽しめ、訪れるたびに様々な魅力や刺激に出会えるよう、民間のアイデアやノウハウを活用した集客力の高いイベントやプログラムを四季折々に展開できる場として、屋外空間を積極的に活用し、にぎわいを創出する。

（イメージ例）

- ・花見、花火、ポケットパーク等でのコンサートやショー、大道芸

○親水空間やオープンスペースなどを活用した楽しく学べる体験型施設や子供を対象としたアクティビティ等を導入し、ファミリーで楽しめる施設・コンテンツなどの充実を図る。

○道路、公園・広場や駅前広場などの公共的空間についても、非日常を演出する場として積極的な活用を図る。

（イメージ例）

- ・パレードや公道モーターレースの開催など
- ・屋外イベント（コンサート、休日ヨガなど）

○体験する人も観る人も非日常を楽しめる、海を活かした親水空間整備やイベント等の充実を図る。

（イメージ例）

- ・ビーチバレー等ができる砂浜、水上のイベントステージ、水上レジャー



屋外フェス（イメージ）



公道モーターレース（イメージ）



花火（イメージ）



ランニングしやすい屋外空間（イメージ）



水上レジャー（イメージ）



憩い・ピクニック（イメージ）

図 アウトドア・アクティビティ イメージ⁴⁴

⁴⁴ 出典： <https://pixabay.com/ja/>

<考え方・ねらい>

- 統合型リゾート（IR）を核として世界を相手に競争力を持つ MICE 拠点を形成し、都市力向上・産業振興に資する大規模展示会や国際会議等への対応力を強化
 - ・都市力向上や大阪が強みを有する産業の振興に資する大規模展示会や国際会議等への対応力を強化するため、統合型リゾート（IR）を核として世界に訴求力を持つ MICE 拠点を形成する。
- 国際観光拠点の集客と最先端技術の実証・実践の取り組みとの相乗効果により、夢洲全体で次の成長産業につながる新たなイノベーションが誘発されるまちをめざす
 - ・大規模展示会等への参加者やイベントへの参加を目的とした来訪者などが、夢洲内で行われている様々な最先端技術の実証・実験に参加・体験できるようにすることで、新たな出会いやアイデアが持続的に生まれるまちの実現をめざす。

<取り組みの方向性>

1. 世界水準の質・規模を備えた大規模展示施設を核とした オールインワン MICE 拠点の形成

OMICE 開催に必要な各種施設（展示施設、会議場、ホテル、飲食・物販、エンターテインメント等）を一体的に整備することにより、「オールインワン」で使いやすさ世界ナンバー1 の MICE 拠点の形成をめざす。

都市名・主要施設	展示場面積	最大規模会議場の収容人数	敷地内・近隣の施設配置状況
シンガポール			
シンガポールエキスポ	100,000 m ²	8,000 人	敷地内にフードコート。近隣にホテル、ゴルフコース多数。
サンテックシンガポール	23,000 m ²	12,000 人	敷地内にホテル5つ、大規模ショッピングモール、劇場。その他近隣に多数の観光施設あり。
マリーナベイサンズ	39,000 m ²	11,000 人	敷地内に大型ホテル、大型ショッピングセンター、カジノ、美術館、ナイトクラブなど。近隣にゴルフ場、マラーイオンタワーなど。
ソウル コ엑ス	36,000 m ²	7,000 人	敷地内にホテル、ショッピングモール、カジノ、映画館、水族館など。



表 オールインワン MICE 拠点の施設配置状況⁴⁵

図 オールインワン MICE のイメージ

○世界水準の質・規模の展示施設、会議場等を備えた複合施設を整備（展示面積 10 万～20 万 m² の日本最大級の展示施設、1 万人規模の会議に対応できる会議場を併設）。



大規模な展示会や見本市、イベント等に対応できる展示施設（イメージ）⁴⁶

図 MICE 関連施設イメージ

⁴⁵ 出典：横浜市 MICE 機能強化検討委員会 横浜市 MICE 機能強化に向けての提言書 参考資料 他をもとに作成（一部修正）

⁴⁶ 出典：日建設計

都市名	施設名	展示面積	開業年	拡張年
シンガポール	シンガポールエキスポ	100,000 m ²	1999 年	—
タイ	IMPACT	140,000 m ²	2000 年	2006 年
中国・上海	上海新国際博覧中心	200,000 m ²	2001 年	—
中国・広州	琶洲展示館	338,000 m ²	2002 年	2008 年
韓国・高陽	KINTEX	100,000 m ²	2005 年	2011 年
中国・北京	北京新中国国際展覧中心	106,000 m ²	2008 年	—
シンガポール	マリーナ・ベイ・サンズ	39,000 m ²	2010 年	—
中国・上海	中国博覧会 会展総合体	500,000 m ²	2015 年	—
シドニー	シドニーコンベンション&エキシビジョンセンター	35,000 m ²	1988 年 (2013 年閉館)	2016 年(12 月) リニューアルオープン予定

表 アジア・太平洋の主な展示施設の展示面積⁴⁷

○展示施設及び会議場は、配置や施設計画上の工夫により、柔軟性の高い運用を行う。

(対応例)

- ・展示施設が一部会議場として転用できる
- ・展示施設に隣接して屋外展示できるオープンスペースがある

○上質なにぎわいのある歩行者空間を通して MICE 施設にアクセスするなど、鉄道駅からのアプローチに配慮するとともに、周辺施設に配慮した搬入を可能とする施設配置計画とし、主催者・出展者・参加者にとって利便性が高い MICE 拠点の形成をめざす。

○海に囲まれた立地や広大な土地を活かした親水空間、広場、マリーナなどの夢洲の魅力を体感できる空間・施設などをユニークベニューとして活用し、MICE 拠点の魅力向上及び国際競争力の強化を図る。

2. MICE 開催地にふさわしいアフターコンベンションの魅力強化

○エンターテインメント施設、文化施設（例：美術館・博物館など）、水に親しみみどりあふれるオープンスペースなどの導入などアフターコンベンションの充実により、MICE 拠点としての魅力を向上し、大規模展示会や国際会議、インセンティブ旅行等の誘致につなげる。

○舞洲スポーツアイランドや中之島の国立国際美術館・（仮称）大阪新美術館・大阪市立科学館、大阪城公園などの周辺施設や、近隣都市と連携し、来訪者のみならず同伴者も楽しむことができる観光メニューの設定などにより、アフターコンベンションの魅力を高める。



舞洲スポーツアイランド⁴⁸



国立国際美術館⁴⁹



大阪城公園⁵⁰

図 アフターコンベンションイメージ

⁴⁷ 出典：三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング(株) 国際観光都市推進事業調査業務 報告書（概要版）をもとに作成（一部修正）

⁴⁸ 出典：株式会社ヒューマンプランニング ホームページ

⁴⁹ 出典：国立国際美術館 ホームページ

⁵⁰ 出典：大阪城公園 ホームページ